

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領

教育 理 念
学びの基礎・基本を身に付け、広い視野
を持ち、国際社会で主体的に活動できる
児童生徒の育成を目指す。

児童・生徒の実態
保護者の期待
今日的教育課題
社会の要請

学 校 教 育 目 標

と も に み が き は ば た く 子

「知恵を磨き、心を耕し、身体を鍛え、世界に生きる」

め ざ す 児 童 ・ 生 徒 像

- すすんで考え、学ぶ子
 - 仲間と共に創り上げる子
 - 仲間と協力して働く子
- 「 共 生 ・ 共 創 ・ 協 働 」

こ ん な 学 校

- 学ぶことが楽しい学校
- 友達と関わるのが楽しい学校
- カンボジアや外国の人や歴史、文化が学べて楽しい学校
- 異学年での活動が楽しい学校

こ ん な 教 職 員

- 子どもと共に学び、共に歩み続ける教職員
- 愛情と責任をもち、共に励み続ける教職員
- 専門職として研鑽し続ける教職員
- 夢をもち、世界に開き続ける教職員

学 校 経 営 の 基 本 方 針

- 1 子どもの学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な知識・技能を確実に習得させ、自ら考え、判断し、行動できる、教育活動の推進に努める。
- 2 異学年との共同の学びを通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育に努める。
- 3 カンボジア・プノンペンで学ぶ教育活動を最大限に活かした学校づくりに努める。
- 4 教職員相互の和を基盤に、質の高い教育活動を展開し、教育目標の具現化を図る。
- 5 家庭・地域と連携し、開かれた信頼される学校づくりに努める。

2023年度の学校運営の重点

□囲いの項目は最重点

下線部分は本年度新規に追加

本校の実態を踏まえ、本年度は、以下のことを学校運営の重点として全教職員でアイデアを出し合い、学校教育の推進に努めていきたい。

1 学習指導の充実（わかる・できる喜びを全員に）

知識・技能中心から思考力・判断力・表現力を育てる教育へ

知識伝授の授業形態から自ら課題を発見し課題解決に主体的に取り組む学習へ

ポスターセッションやディベートなどの発表の仕方を身に付けさせる

自分の考えや思いを相手に伝えるための表現方法を身に付け活用できるような授業へ

2 情報教育の推進・充実

全教科・全領域での活用を模索し、実践を積み重ねる。

情報モラルについての指導を行う

ノートパソコン（Chromebook）の全員配布と活用（小3～中3）

タブレットの更新（新規購入）を図る（小1～2）

3 校務・指導のDX化をいっそう促進し、本校にとってより有用な方法を構築する

ICT（情報通信技術）環境の再整備と効率化をいっそう図る

デジタル教科書導入を見据え ICT 環境及び先端技術を効果的に用いる方策を研究する

DX（デジタルを活用した変革）推進のための特別委員（DX 部会）で具体策を提案する

より効果的な学校ホームページを新たに構築し、学校の魅力発信力を高める

ロイロノート（教育支援アプリ）を全学年に導入し効果的な活用を図る

4 英語教育の推進・充実を目指す

生きた英語教育（実践的な）を推進するための英語講師と担当者とのコラボ授業

小1から中3・・・英語講師（アーリー先生）が授業に入る

外部人材を活用した、使える話せる英語を実践する（より使える実践的英語）

インタナショナルスクール、日本人学校、国内学校等と英語での交流をする

5 校内研修・研究の充実

教師も児童生徒も伸びが実感できる内容とする

毎年の変容が実感できる研修・研究とする

教師自らが現地に学ぶ研修機会を設ける

ロイロノートの有効活用研修会を実施し、使用技術の向上を図る。

6 グローバル教育（国際理解教育）の推進・充実

日本の文化や歴史と関連付けて、より深くカンボジアを学ぶ

現地校やインター校等との交流（実のある継続的な交流）

外部団体（国際交流基金・JICA・JETRO 等）と連携をし、その活用を図る

海外子女教育財団の提案する研究方針を理解し、教育の質を高める

7 社会人・企業等の活用を推進・充実する

カンボジアについて学ぶための外部講師バンクを更新する

学習支援ボランティアの導入（プノンペン大学生徒；特設英会話、クメール語講座）

職業体験のための講師（企業）・・・中学生

働く意義や意味を知る・・・小学生

教科指導における社会人講師・・・例；生活、家庭、理科、体育、総合等

8 大使館・日本人会・関係団体行事への児童生徒の積極的な参加

各種行事への参加を通して地域社会への貢献を行うとともに今後の見直しにもつなげる

日・カンボジア友好70周年記念行事へ積極的参加し日本人学校のPRを行う

シー・パラゲームの観戦と関連学習の相乗効果をねらう

9 プノンペン補習授業校との交流をいっそう促進する

双方向での学びを实践させることで交流の深化を図る（補習校交流会）

10 オンライン授業の積極的な活用を図り、学力の維持・向上を目指す

研修会の実施

外部人材の活用

情報環境の再整備

11 副読本「わたしたちのカンボジア」（改訂版）を出版する

改訂にあたっては、実際の指導に資する内容になることを第1とし発行する

12 **SDGs（持続可能な開発目標）の实践を全学年で实践を積み重ねる**

本年度はSDGsの狙いに即した实践を全クラスで实践し、記録として残す

積極的に外部組織等に本校のSDGsへの取り組みをアピールしていく

13 健康づくり・体力づくりに取り組む

「Sport for all」（体育的活動；小1～3）を新設し、運動の楽しさを十分に体感させる
朝タイムを活用し、「エクササイズ」を計画的に通年する